

# 定期予防接種

- ◆個人通知はありません。母子健康手帳アプリ(母子モ)で予防接種のスケジュール管理ができます。
- ◆接種前に、必ず「予防接種と子どもの健康」を読みましょう。
- ◆大野城市と春日市の小児科では母子健康手帳アプリ(母子モ)でデジタル予診票の入力ができます。予約は別途必要です。
- ◆法上の対象年齢の期間のみ無料で接種ができます。

接種の種類	標準的な接種時期 <接種回数>	接種方法：間隔	法上の 対象年齢	標準的なスケジュール																		
				2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	12 か 月	15 か 月	18 か 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳
ロタ (ロタリックス)	1回目は 出生2月～14週6日後 <2回>	27日以上の間隔で2回経口投与。 初回接種は、出生14週6日後までに終わらせることが望ましい。	出生6週0日後～ 24週0日後	①②																		
ロタ (ロタテック)	1回目は 出生2月～14週6日後 <3回>	27日以上の間隔で3回経口投与。 初回接種は、出生14週6日後までに終わらせることが望ましい。	出生6週0日後～ 32週0日後	①②③																		
五種混合 (※2) {ジフテリア、百日せき 破傷風、ポリオ、ヒブ}	1期初回は 出生2か月～6か月 <4回>	1期初回：20日以上の間隔で3回(20～56日の間隔が望ましい) 1期追加：1期初回(3回目)終了後、6か月以上あけて1回 (6か月～18か月の間隔が望ましい)	生後2か月～ 7歳6か月未満	①②③						④												
ヒブ (※1)	初回は 生後2か月～6か月 <4回>	初回：1歳になるまでに27日(医師が認める場合は20日)以上の 間隔で3回(27～56日の間隔が望ましい) ・2回目・3回目が1歳を超えた場合は接種しない。 追加接種は可能。 追加：3回目から7か月以上の間隔で1回 (7～13か月の間隔が望ましい) ・2回目・3回目が1歳を超えた場合は追加は、前回の後 27日(医師が認める場合は20日)以上の間隔で1回	生後 2か月～5歳未満	①②③						④												
小児用 肺炎球菌 (※1)	初回は 生後2か月～6か月 <4回>	初回：2歳になるまでに27日以上の間隔で3回。 (1歳未満が望ましい) ・2回目・3回目が2歳を超えた場合は接種しない。 また、2回目が1歳を超えた場合は、3回目は接種しない。 追加接種は可能。 追加：前回から60日以上あけて、1歳以降に1回 (標準的な接種期間は、1歳～1歳3か月未満)	生後 2か月～5歳未満	①②③						④												
B型肝炎	生後2か月～9か月未満 <3回>	27日以上の間隔で2回、1回目から139日以上あけて1回	1歳未満	①②				③														
BCG	生後5か月～8か月未満 <1回>	1回	1歳未満					①														
麻しん風しん 混合(MR)・ 麻しん・風しん	1歳～2歳未満 <1回> 小学校就学前の 1年間 <1回>	1期：1回 2期：1回	1歳～2歳未満 小学校就学前の1年間 R2年4月2日～ R3年4月1日生まれ							①											②	小学校就学前の 1年間
水痘	1回目は 1歳～1歳3か月未満 <2回>	1回目：1回 2回目：1回目終了後、3か月以上あけて1回 (6か月～12か月の間隔が望ましい)	1歳～3歳未満										①	②								
日本脳炎 (※3)	3歳 <2回> 4歳 <1回> 9歳 <1回>	1期初回：6日以上の間隔で2回(6～28日の間隔が望ましい) 1期追加：前回の後、6か月以上あけて1回(約1年後が望ましい) 2期：1回	生後6か月～ 7歳6か月未満 9歳～13歳未満																			④
二種混合 (ジフテリア、破傷風)	11歳 <1回>	2期：1回	11歳～13歳未満																			①

接種の種類	標準的な接種時期 <接種回数>	接種方法		法上の 対象年齢	標準的なスケジュール											
		ワクチン名	間隔：原則 変更が必要な場合の間隔		10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳				
子宮頸がん	小学6年生～高校1年生に 相当する年齢の女子 (H22年4月2日～ H27年4月1日生まれ) ◆標準的な接種学年： 中学1年生 (2回または3回) ※ワクチンと接種開始時期に より接種回数異なります。	シル ガード	3回 接種 初回(1回目) ⇒初回から2か月後(2回目) ⇒初回から6か月後(3回目) ※2回目⇒3回目は少なくとも 3か月以上の間隔を空ける	初回(1回目) ⇒少なくとも1か月以上の間隔(2回目) ⇒2回目から少なくとも3か月以上の 間隔(3回目)	小学6年生～ 高校1年生に 相当する年齢の女子 (H22年4月2日～ H27年4月1日生まれ)							① ② ※③				
			2回 接種 初回(1回目：15歳未満) ⇒初回から6か月後(2回目)	初回(1回目：15歳未満) ⇒少なくとも5か月以上の間隔(2回目)												

接種の種類	標準的な接種時期 <接種回数>	接種方法			法上の対象	標準的なスケジュール		
		ワクチン名	間隔：原則	定期接種化の開始時期		～27週	28週～36週	37週～
RSウイルス (※4)	妊娠28週～37週に至る までの者 <1回>	アボリスボ	1回接種	令和8年4月1日から	妊娠28週～37週 に至るまでの者		①	

- ※1 ヒブ、小児用肺炎球菌の接種開始年齢が生後6か月を超えた場合は、接種回数が異なります。
- ※2 四種混合を接種している人で、接種回数が途中の場合は、五種混合ワクチンを接種してください。
- ※3 日本脳炎の特例接種について(積極的勧奨を平成17年以降に差し控えた影響に対応するため)  
対象者：平成19年4月1日以前に生まれた人⇒20歳未満の期間に不足分を公費で接種できます。
- ※4 RSワクチンについては、妊婦の方が対象です。令和8年4月1日から定期予防接種として接種  
をすることができます。詳細についてはホームページにて確認してください。

①②③④ : 望ましい時期の例、①②などの数字は  
ワクチンの接種ごとに接種の回数

黄色 : 定期接種として接種可能な年齢



(予防接種情報) (子宮頸がん予防接種)